

移動手法の選定に向けた考え方の整理について(まとめ)

第6回勉強会でお示した移動支援の手法を整理するにあたり、市民委員の皆様へ下記の項目についてご意見を伺うため、事前にアンケート調査をさせていただきました。

項目	事務局整理	委員意見
① 時間帯	アンケート調査結果(H29 実施)より <ul style="list-style-type: none"> <li>・買物 出発 10～11時台 帰宅 12 時、15～18 時以降</li> <li>・通院 出発 9～10 時台 帰宅 12 時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や移動手法によって異なる。</li> <li>・リヴィンの開店時間(10 時)以降がよい。</li> <li>・病院に行く方は早い方で 8:30 ぐらいから出かけている。一度時間の予約だけして、家に戻っている場合もある。</li> <li>・1時間に3本は欲しい。(少なくとも1、2本)</li> <li>・3日に1度は運行してほしい。</li> <li>・日曜日は外してもいいかも</li> </ul>
② 乗りやすさ・使いやすさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点集合方式</li> <li>・事前予約方式(電話、アプリ)</li> <li>・時間帯を概ね固定 (2点間の移動で予約の有無に関わらず利用可)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別での乗車がよい。(気楽に乗りたい。)</li> <li>・集まる人数に関係なく利用できる。</li> <li>・予約式は使いにくい。</li> <li>・特定の時間での利用と、予約式での2本立て</li> <li>・乗れなかった場合の対応はどうなるか。</li> <li>・いつも同じコースを走るのか。</li> <li>・数箇所であれば路線バスのようになる。</li> <li>・定時制・定路線型も考えられるのではないか。</li> <li>・巡回方式(小型バスのようなもの)</li> <li>・バイクやトゥクトゥクのようなものも検討 (事例:武蔵村山市の送迎自転車サービス)</li> </ul>
③ 対象者	(移動制約者) <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者</li> <li>・障害者</li> <li>・妊娠されている方</li> <li>・小さなお子さんをお連れの方 (乳幼児、小学生)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気な人も具合が悪くなることもある。</li> <li>・対象者を限定しないほうがよい。</li> <li>・特定の高齢者、障害者は福祉のサービスがある。</li> <li>・通勤通学は外す。</li> <li>・採算の面から一般の方も入れたほうがよい。</li> <li>・対象を制約すると利用者が少なくなるのではないか。収支が取れなくなってしまうのではないか。</li> </ul>
④ 集まれる場所の候補地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南町地区会館</li> <li>・UR 集会所</li> <li>・コンビニエンスストア</li> </ul> <p>※運行時間中のバス停付近は駐停車禁止のため、バス停付近は候補地とはなりません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園、児童遊園(柳沢第一児童遊園)</li> <li>・幼稚園バスのように所々で停まる。</li> <li>・武蔵野大学</li> <li>・老人ホーム、デイサービス、サロン (ただし、送迎時間については注意が必要)</li> <li>・屋根がある場所(なければ設置も)</li> <li>・メイン通り(柳沢団地通りから文化通りにかけて)のどこかで乗ればよい。</li> <li>・200mぐらいの間隔で集まれる場所があるとよい。</li> </ul>

(その他) ・乗る場所まで行くのが大変な人もいる。